







笑顔いっぱい 勝間田っ子 ～自ら学び、共に伸びる児童の育成～

自ら学ぶ子ども（対自的な勝間田っ子非認知能力）

<p>いと ちから ちょうせん 挑む力（挑戦）</p> <p>自信を持っているんなことに興味を広げてやってみることで、喜びと達成感を感じることができる。</p>	<p>たか ちから こうじょうしん 高める力（向上心）</p> <p>自分で見つけた目標のために取り組み、次の課題や目標も見つけることができる。</p>	<p>ちから こんき ねばる力（根気）</p> <p>失敗しても気持ちを切り替え、繰り返しあきらめずに最後までやりきることができる。</p>
		
<p>【やってみる】</p>	<p>【目標をもつ】</p>	<p>【切り替える】</p>
<p>①好きなことに挑戦する ②興味のないことにも挑戦する。 ③苦手なことにも挑戦する。</p>	<p>①自分の長所・短所を言葉にできる。 ②自分のやりたいこと、なりたいものを言葉にできる。 ③自分の目標を決めて、言葉にできる。</p>	<p>①苦手なことから逃げずに取り組む。 ②気持ちを切りかえて、前向きに取り組む。 ③さまざまな場面で、プラスの言動をする。</p>
<p>【できたことを喜ぶ】</p>	<p>【目標に向かう】</p>	<p>【やり切る】</p>
<p>①できた喜びを、表情や振る舞いで表す。 ②できた喜びを、言葉で表す。 ③自分の成長に気づき、言葉で表す。</p>	<p>①目標に向けて行動している。 ②目標に向け、計画を立てて行動している。 ③新しい課題や目標を見つけている。</p>	<p>①時間いっぱいする。 ②できるまでする。 ③まちがいをやり直す。</p>

共に伸びる子ども（対他的な勝間田っ子非認知能力）

<p>つた あ いしぞつう 伝え合う力（意思疎通）</p> <p>自分の考えをもち、相手のことを考えながら伝えたり、聞いたりすることができる。</p>	<p>みと あ たしやしやうにん 認め合う力（他者承認）</p> <p>自分と他者との違いを受け入れるとともに、他者の良い所や成長・頑張りに気づくことができる。</p>	<p>ささ あ きやうどう 支え合う力（協働）</p> <p>周囲の他者たちと仲間意識を持ってつながり、お互いに協力することができる。</p>
		
<p>【考えを伝える】</p>	<p>【受け入れる】</p>	<p>【つながる】</p>
<p>①自分の考えを、進んで伝える。 ②自分の考えを、根拠をもって伝える。 ③相手の考えを取り入れ、新しい考えを伝える。</p>	<p>①自分と相手に違いがあることに気づく。 ②違いについて、マイナスの言動をしない。 ③違いについて、プラスの言動をしている。</p>	<p>お互いに（ペアやグループ等で助け合い） ①気にかけて、声をかけ、関わろうとしている。 ②助けを求めたり、手伝ったりしている。 ③間違いや失敗があっても、励ましたりアドバイスしたりしている。</p>
<p>【考えを聞く】</p>	<p>【気づく】</p>	<p>【協力する】</p>
<p>①最後まで聞いて、反応している。 ②最後まで聞いて、違いや良さを見つける。 ③最後まで聞いて、質問や感想を伝える。</p>	<p>①相手のよさに気づいて言葉にする。 ②相手の努力や変化に気づいて言葉にする。 ③相手のよさ、努力や変化を、ともに喜ぶ。</p>	<p>集団で（学級や学年、学校全体での目標） ①同じ目標を、一緒に達成しようとしている。 ②同じ目標を達成するために、支え合っている。 ③それぞれが自分のできることを考え、役割を果たそうとしている。</p>

ギミックブラッシュアップシート

本時の 内容	単元名	(第 時)		
	授業名			
本時の ねらい 教科内容				
本時の ねらい 非認知能力				
本時の ギミック	タイム できるだけ限定	授業を開始して 分頃から 分頃まで		
	イメージ 想定できる ギミックへの反応			
	ギミック 一つでも、 複数でも可	環境 場の構成		
		教具 ものの設定		
活動 こと的设计				
感情の 動き	開 始		終 了
振り返り				

運動会を通して、テストでは測れないけど、将来幸せに生きるために役立つ力を伸ばそう!

6年組番名前()

点数化できない力 = 非認知能力

例えば

- ・我慢&落ち着くために「**自分と向き合う力**」
- ・やる気&挑戦のために「**自分を高める力**」
- ・思いやり&コミュニケーションのために「**他者とつながる力**」

非認知能力のポイント

- ①非認知能力は、自分が意識することで伸ばせる力
- ②非認知能力を伸ばすために特別なトレーニングは必要ない
- ③普段の日常生活での行動を「意識して行うこと」で伸ばせる
- ④これまでの出来事が非認知能力を伸ばすきっかけになっている
- ⑤これからの出来事にどのような意識で取り組むかも重要

**運動会に向けて、
自分が伸ばしたい力を意識して取り組んでみよう!**

【行事の前に】自分の非認知能力はいまどんな感じ?

非認知能力 チェック事項		とても できている	全く できていない
自分と向き合う力	1 わたしは、自分のよいところやがんばっているところを見つけようができる。	5	1
	2 わたしは、落ち込むようなことがあっても、自分で気持ちを切りかえられる。	5	1
自分を高める力	3 わたしは、具体的に目標を決め、その目標へコツコツと向かっていける。	5	1
	4 わたしは、いま取り組んでいることを、さらによりよくしようができる。	5	1
他者とつながる力	5 わたしは、友達のよいところやがんばっているところを見つけようができる。	5	1
	6 わたしは、間違ったり失敗したりしたときに、支え合ったり助け合ったりできる。	5	1
	7 わたしは、集団の中で自分が何をすべきか考えて、意見を出したり、自分の役割を果たしたりできる。	5	1

運動会を通して、自分が伸ばしたい非認知能力(1つ選んで書く)

その力を伸ばしたいと思った理由

【行事の途中で①】 自分の非認知能力はいま何点くらい？

自分が伸ばしたいと思った非認知能力のところに 100 点満点中何点くらいか書く。↓

非認知能力 チェック事項		点数
自分と向き合う力	1 わたしは、自分のよいところやがんばっているところを見つけようとする。	
	2 わたしは、落ち込むようなことがあっても、自分で気持ちを切りかえられる。	
自分を高める力	3 わたしは、具体的に目標を決め、その目標へコツコツと向かっていける。	
	4 わたしは、いま取り組んでいることを、さらによりよくしようとする。	
他者とつながる力	5 わたしは、友達のよいところやがんばっているところを見つけようとする。	
	6 わたしは、間違ったり失敗したりしたときに、支え合ったり助け合ったりできる。	
	7 わたしは、集団の中で自分が何をすべきか考えて、意見を出したり、自分の役割を果たしたりできる。	

その点数をつけた理由

(例) ~のときに~することができたから。~のときに~することができなかったから。100 点に近づけるために次は~する。

【行事を終えて】 自分の非認知能力はいまどんな感じ？

非認知能力 チェック事項		とても できている	全く できていない			
自分と向き合う力	1 わたしは、自分のよいところやがんばっているところを見つけようとする。	5	4	3	2	1
	2 わたしは、落ち込むようなことがあっても、自分で気持ちを切りかえられる。	5	4	3	2	1
自分を高める力	3 わたしは、具体的に目標を決め、その目標へコツコツと向かっていける。	5	4	3	2	1
	4 わたしは、いま取り組んでいることを、さらによりよくしようとする。	5	4	3	2	1
他者とつながる力	5 わたしは、友達のよいところやがんばっているところを見つけようとする。	5	4	3	2	1
	6 わたしは、間違ったり失敗したりしたときに、支え合ったり助け合ったりできる。	5	4	3	2	1
	7 わたしは、集団の中で自分が何をすべきか考えて、意見を出したり、自分の役割を果たしたりできる。	5	4	3	2	1

自分で決めた非認知能力を伸ばすために、運動会を通して何をしたか、やってみてどうだったか、次はどうしたいか。